

インフォメーションシステム事業の ねらいと展望



高木正博*



勝山光太郎**

Scope and Vision of Mitsubishi Electric Group's Information Systems and Network Services

Masahiro Takagi, Kotaro Katsuyama

要 旨

三菱電機は、2004年に、「快適・安心・発展を支えるITシステムのお客様との共創」を目指すITシステムビジョンを発表した。ITシステムビジョンは、コンサル&ソリューション、トータルセキュリティ、データセントリック、ユビキタスネットワーク、サポート&サービスの5つの重点分野からなる。

2005年からは、「快適・安心・発展“DiamondSolution(注1)」というスローガンを新たに設定し、ユビキタス社会実現に向け以下に示すようなITソリューションの実績を積み上げてきた。

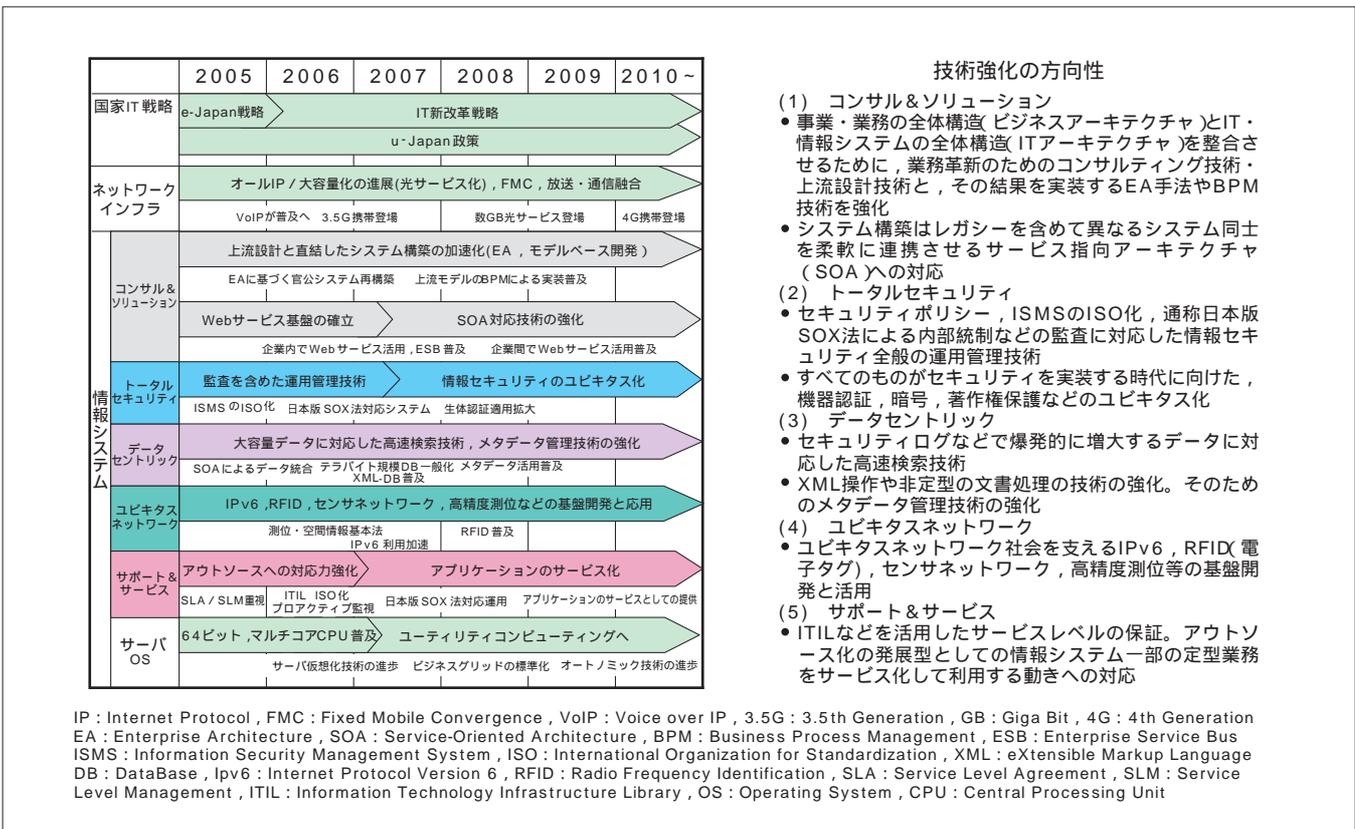
(1) “快適”が目指すものは経営スピードや顧客満足度の向上であり、一例として銀行業務の自動相談・契約端末のシステムなどを構築

(2) “安心”が目指すものはセキュリティの向上や高信頼性の確保、コンプライアンスの維持であり、日本版SOX (Sarbanes-Oxley)法との関連で関心が高まっているコンプライアンス推進ソリューションやITサービスマネジメントソリューションなどを提供開始

(3) “発展”が目指すものは変化への素早い対応や事業継続性であり、システム変更を容易にするサービス指向アーキテクチャ対応製品などを提供開始

ITシステムビジョンの5つの重点分野について、更なる“快適・安心・発展”をお客様と共創していくためのロードマップ及びその技術強化の方向性を、以下のイメージ図に示す。

(注1) DiamondSolutionは、三菱電機株の登録商標である。



ITシステムビジョンの5つの重点分野ロードマップ: 技術強化の方向性

このロードマップは、背景となる国家IT戦略、ネットワークインフラの進展、サーバOSの進化とともに、ITシステムビジョンの5つの分野ごとに重要と考える動向とそれに対する方向付けを示している。更なる技術開発とシステム/製品/サービスへの適用によって、快適・安心・発展の追求に取り組んでいく。